

## NEWS RELEASE

新発売

世界最望遠 1600mm・光学 40 倍ズームを実現、監視や点検など幅広い用途で活用可能

### レンズ一体型遠望カメラ「FUJIFILM SX1600」

新開発の防振システムや高速・高精度 AF を搭載し対象物を瞬時に鮮明な映像でとらえる

2023 年 4 月 6 日

富士フイルム株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長・CEO：後藤 禎一）は、レンズ一体型遠望カメラ「SX シリーズ」の新たなラインアップとして、「FUJIFILM SX1600」（以下、「SX1600」）を 2023 年 4 月 12 日より発売します。

「SX1600」は、広角 40mm～世界最望遠<sup>※1</sup>1600mm の焦点距離をカバーする光学 40 倍ズームが可能な「FUJINON レンズ」を搭載した遠望カメラです。新開発の防振システムや高速・高精度 AF を備え、遠方の対象物を瞬時に鮮明な映像でとらえることができます。国境や港湾の監視のみならず、インフラ設備の遠隔点検など幅広い用途で活用いただけます。



「FUJIFILM SX1600」

遠望カメラは、国境や港湾、空港などで遠方を監視する用途で多く使用されています。また、老朽化が進む社会インフラの点検業務の人手不足を背景に、遠隔点検の用途でも活用され始めています。

当社は、長年培ってきた光学技術と画像処理技術を結集し、レンズ一体型遠望カメラ「SX シリーズ」を 2019 年より発売しています。現在、焦点距離 20mm～800mm をカバーする光学 40 倍ズームが可能な「FUJIFILM SX800」（以下、「SX800」）、さらに「SX800」と IP コントロール対応の全天候型旋回台・専用の映像管理ソフトウェアを組み合わせたパッケージ製品「NEO-SX800 Pro」を販売し、監視から点検まで幅広いニーズに応えています。

今回発売する「SX1600」は、1/1.8 型の有効イメージサイズ<sup>※2</sup>に対応したレンズ一体型遠望カメラで、「SX800」の 2 倍となる、広角 40mm～世界最望遠 1600mm の焦点距離を備えています。また、新たに開発したセンサー制御技術などにより、有効イメージサイズを拡張することで、焦点距離を 20mm 相当<sup>※3</sup>まで広げることができます。さらに、最大 2 倍のデジタルズームとの組み合わせにより、焦点距離 3200mm 相当の撮影が可能。焦点距離 20mm～3200mm 相当をカバーする 160 倍ズームを実現し、約 2.5km 先にある車のナンバープレート<sup>※4</sup>や約 3.5km 先の人物をとらえることができます。

「SX1600」は、新開発の防振システムの搭載により、光学式防振機能（OIS）と電子式防振機能（EIS）の協調制御を可能とし、映像のブレを的確に補正。最短約 0.1 秒の高速・高精度 AF や優れた陽炎・霞軽減

機能なども備えるため、対象物を瞬時にとらえ、クリアに撮影できます。国境や森林のみならず、空港、港湾、高速道路など大規模な公共施設・設備の監視、高所作業を伴う大規模な工事現場の安全管理、風力発電機や送電線といったインフラ設備の遠隔点検など、幅広い用途で活用いただけます。

当社は、4K/8K 対応の放送用レンズやシネマカメラ用レンズなど幅広いレンズ製品の開発で培った独自の光学技術と、デジタルカメラ「GFX シリーズ」「X シリーズ」で採用している最先端の画像処理技術を駆使し、今後もお客様や市場のニーズに応える画期的な製品の開発に取り組んでいきます。

- ※1 レンズ一体型遠望カメラとして。2023年4月6日現在。当社調べ。
- ※2 イメージセンサー上で映像記録に用いられる範囲。
- ※3 1/1.8型換算。
- ※4 ナンバープレートの一連指定番号(4桁の数字)を捉えることが可能。

## 1. 製品名、発売日、価格

製品名	発売日	価格
レンズ一体型遠望カメラ「FUJIFILM SX1600」	2023年4月12日	オープン価格

## 2. 主な特長

### (1) 世界最望遠 1600mm・光学 40 倍ズームを実現する超望遠ズームレンズを搭載

- 1/1.8 型の有効イメージサイズに対応したレンズ一体型遠望カメラ。広角 40mm～世界最望遠 1600mm の焦点距離をカバーする光学 40 倍ズームを実現する超望遠ズームレンズを搭載しています。
- 新たに開発したセンサー制御技術などにより、有効イメージサイズを 1/1.8 型から 1.1 型に拡張し、焦点距離を 20mm 相当まで広げることができます。また、最大 2 倍のデジタルズームとの組み合わせにより、焦点距離 3200mm 相当の撮影を可能とし、焦点距離 20mm～3200mm 相当をカバーする 160 倍ズームを実現します。
- 1.1 型の有効イメージサイズでは、4K 相当のデータ量からフル HD 映像を生成するため、高品質で鮮明な映像を提供します。

### (2) 映像のブレを強力に抑える高性能な防振システムを新開発

- 光学式防振機能(OIS)と電子式防振機能 (EIS)の協調制御を可能とした新開発の防振システムを搭載。補正角<sup>※5</sup>を「SX800」と比べて最大 1.5 倍に拡大させました。足場の揺れや風により大きなブレが発生しやすい遠望撮影でも、安心してご使用いただけます。
- 防振機構に独自開発の「セラミックボールローラー方式」を採用。防振時の摩擦抵抗を極限まで低減し、高い応答性と優れた耐久性を実現します。さらに、高性能ジャイロセンサーにより検出した微小な振動をタイムラグなく検知し、的確に補正することができます。

※5 補正できる揺れの角度。

### (3) 被写体を瞬時に正確にとらえる最短約 0.1 秒の高速・高精度 AF が可能

- 後群の小径レンズを高速で駆動させる「リアフォーカス方式」を採用することで、フォーカス群を大幅に軽量化。さらに CMOS センサーの位相差画素が入射光のズレに応じて被写体までの距離を測定し素早くピントを合わせる「像面位相差 AF」と、画像のコントラストを検出し高精度にピント合わせを行う「コントラスト AF」を組み合わせることで、最短約 0.1 秒の高速・高精度な AF を実現します。

- ・AF エリアを従来の 9 分割から 45 分割へ細分化。被写体のサイズや位置に合わせて AF エリアを選択し、撮影することが可能です。

#### **(4) 陽炎・霞軽減機能などにより鮮明な映像を提供**

- ・優れた陽炎・霞軽減機能を搭載。最先端の補正アルゴリズムと、高速演算処理が可能な画像処理エンジンにより、特に映像に映っている他の動体と区別することが難しい陽炎も検出し、外部デバイスを用いことなくリアルタイムで補正するため、鮮明な映像を実現します。さらに、光学フィルターと画像処理技術を組み合わせることで、視認性を低下させる霧・霏発生時でもクリアに撮影することができます。
- ・可視光から近赤外線までの幅広い波長域に対応する多層コーティング処理を施すことにより、光の透過率を極限まで高め、フレアやゴーストを効果的に抑制します。
- ・高性能イメージセンサーや最先端の画像処理技術などにより、暗所で高感度に設定した場合でも、ノイズの少ない鮮明な映像を実現します。

#### **(5) 設置時の作業工数を大幅に削減**

- ・レンズとカメラを一体で開発し、それぞれの性能を最大限引き出せるように設計・組立を行っているため、従来必要であった光軸やフランジバックの調整が不要となり、設置時の作業工数を大幅に削減します。

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

【報道関係】 富士フイルムホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループ  
TEL : 03-6271-2000

【お客様】 イメージングソリューション事業部 ビジネスソリューショングループ

製品に関するお問い合わせフォーム：

<https://www.fujifilm.com/jp/ja/business/optical-devices/cctv/contact>